着実にそしての歩

支援の輪、途絶えることなく

災害ボランティアセンター」 されました。 に高島市社会福祉協議会に 台風18号が去った翌日の9月17日 「高島市

ボランティアが集まり、 みの後片付けなどに汗を流しました。 らの3日間には、 た人数はのべ3, てくださり、 なくボランティアの方々が駆け付け 人を超える方が、 その後も県内外から途絶えること の3日間には、県内外から多くの被災後最初の週末にあたる21日か 9月30日までに集まっ 家屋の泥出しやご 144人となりま 5 0 0

各団体からの大きな支援

県建設業協会高島支部のご支援によ りました。これらのガレキは、滋賀 キや粗大ごみは、 して3,000トンを超える量とな 被災された地域から出てきたガレ 車載積載量で換算







高島支所前に設置されたボランティアセンター。 後、スコップなどの道具を持ち被害地区へ。 消防団員や中学生などさまざまな方が参加、家屋の中や敷











地内の泥上げなどをされました。



被災されました方々の生活支援とと

た後も、災害復旧支援本部を中心に、

9月30日に災害対策本部を解散し

もに復旧事業に取り組んでいます。

号災害復旧支援本部」を設置しまし

9月25日に

「高島市台風18

被災された方の災害復旧を支援す

災害対策から復旧支援へ

国土交通省 緊急災害対策派遣隊 (テックフォース) から被害概要報 告書を受け取る市長。市が管理する 道路や河川、砂防施設だけで被害は 97 か所、被害額は2億6千万円を 超えるとの報告を受けました。



況の調査や測量を行っています。

多くの方々からさまざまなご支援

一歩ずつ復旧に

畿農政局の協力を得ながら、 度を受けることになりますので、

被害状

近

流入に対する復旧には、

国の支援制

電確認を行っていただきました。

災害直後に、

浸水した家の漏

広範囲におよぶ農地の冠水や土砂

で迅速に対応していただきました。

滋賀県電気工事工業組合高島支部

備局や北陸地方整備局、 などは滋賀国道事務所、

県関係機関 近畿地方整 物収集運搬事業協同組合のご協力を

ごみの分別や収集作業に

高島市一般廃棄

また、

道路や河川の復旧



横山に仮置きされたごみやガレキの山

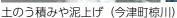






砂ぼこりが舞う被災地

水路の泥出し(南鴨)



高島市災害対策本部の応急対策

- ●職員を被災地域へ派遣し家屋内外の泥上げ、消毒
- ●被災者相談窓□の設置
- ●給水車で給水支援
- ●断水地区を対象とした温泉無料開放を市内4施設に要請(960人が利用)







